

基山中学校体育館建替え地元 9 区及び町民対象意見交換会 会議録（要点筆記）

日 時：令和 8 年 7 月 15 日（水） 1 5：0 0～1 6：4 5

場 所：基山町民会館 小ホール

教 育 長：柴田教育長

事 務 局：井上課長、下川係長

学 校 長：江島校長

参 加 者：10 人

1. 開会

（事務局により開会）

2. 教育長あいさつ

省略

3. 基山中学校屋内運動場改築基本方針（案）について

（事務局により説明）

4. 質疑応答

【質問】

中学校体育館の造成・建築工事については、令和 11 年度に着工する予定なのか。また、完成までの工期は約 2 年間とされているが、現状の中東情勢によるナフサなど建築資材の原材料の供給不足や価格高騰の影響については、どのように見込んでいるのか。

【回答】

用地交渉が円滑に進み、一定の整理がつかなければ工事に着手できない状況である。そのため、現時点では、用地交渉等様々な条件が順調に進めば、令和 13 年度の完成を見込んでいる。用地交渉や社会情勢など様々な要因によっては、事業スケジュールが遅れる可能性もあると考えている。

【質問】

防災拠点としての機能も備えるとのことであるが、非常用電源については、太陽光発電、と発電機接続用回路の整備の 2 点しか記載されていない。太陽光発電は、停電時には使用できないことから、蓄電機能も必要ではないのか。

【回答】

太陽光発電については、停電時においても昼間は電力を利用することが可能である。ま

た、夜間や悪天候時など太陽光発電では対応できない場合は、蓄電池ではなく発電機を活用し、必要な電力を確保することを想定している。

【質問】

発電機を別途用意するとのことであるが、どのように確保することを想定しているのか。

【回答】

発電機は、レンタルにより確保することを想定している。具体的な調達方法や運用体制については、施設整備を進める中で整理していきたい。また、蓄電池については、防災拠点として電力を確保するためには、大容量の設備が必要なことから、発電機を活用して必要な電力を確保の方が効率的であると考えている。

【質問】

発電機で確保する電力については、夜間の照明やコンセントなど最低限の電力を確保することを想定しているのか。

【回答】

空調設備などの動力系設備についても稼働できるよう整備したいと考えているが、具体的な設備や必要な電力容量については、今後の基本設計の中で検討したい。

また、中学校体育館には防災拠点となるが、町の主な避難場所は町民会館及び総合体育館である。しかし、中学校体育館についても防災拠点としての機能を十分に発揮できるよう、ご指摘の趣旨を踏まえ、必要な設備について検討したい。

【質問】

防災拠点として活用するのであれば、体育館内に災害用備蓄品を保管するスペースについても検討していただきたい。

【回答】

現在の体育館と同規模の施設を想定しているため、備蓄スペースを確保できるかは現時点では未定であるが、今後、基本設計を進める中で検討したい。

【質問】

学校施設環境改善交付金として、文部科学省より3分の1補助があるとの記載であるが、体育館を建設する場合、建設費10億円に対して、その3分の1が補助されるという認識でよいか。

【回答】

補助対象となるのは、本体工事及び太陽光発電設備の設置費用である。ただし、補助金には上限額が設定されており、上限額を超える部分については町の単独負担となる。

また、補助対象事業費の90%については、起債を活用する予定である。起債の元利償還

金については、その 70%が普通交付税措置の対象となるため、町の財政負担の軽減が図られる。このような国の財政支援制度を有効に活用しながら事業を進めていきたいと考えている。

【質問】

現在の体育館、倉庫、トイレや駐車場で利用している土地の利活用については、基本方針に記載されていないが、どのような利用を考えているのか。

【回答】

現時点で体育館跡地の活用方法は決定していないが、更地となることから、駐車場としての利用も一つの選択肢として考えている。

また、現在のテニスコートは借地に整備していることから、将来的には移設も想定しているが、現時点では具体的な検討には至っていない状況である。

【質問】

必要な予算が発生しなければよいが、体育館を更地にした後に整備を行う場合には、新たな費用が発生することも想定される。現時点で跡地の活用や整備について予定はあるのか。

【回答】

現在、基本設計に着手する段階であり、跡地の活用や整備内容については、現時点で具体的な計画は決まっていない。

基本方針（案）に示している事業費は、近隣自治体の事例や現時点で想定される体育館建設費を基に算出した概算である。そのため、技術室との一体整備や水路の付け替え、跡地の整備に係る費用については、現時点では計上していない。

【質問】

非現地・私有地への建替えに伴い、道路及び水路の改良を検討されているとのことであるが、現状では校舎北側の道路と水路は別々に設置されている。資料 7 ページの実線に沿って道路と水路を移設する計画なのか又は道路の下に水路を設置する計画なのか。また、周辺住民の通行については、今後、資料の実線に沿った道路を利用することになるとの認識でよいか。

【回答】

学校用地と取得予定の私有地を一体的に活用するため、道路については、実線に沿って、外側へ設置することを想定している。また、水路については、現在角部がほぼ直角になっている箇所があり、大雨時には水が溢れている状況もあることから、角部を緩やかな形状にするとともに暗渠化したいと考えている。暗渠化した部分については、上部への構造物の設置は難しいかもしれないが、暗渠化することで敷地を一体的に活用できるよう整備し

たいと考えている。

【質問】

基本方針(案)では、旧保育園の建物の用地まで体育館用地として予定されている。解体費用は7,200万円とされているが、旧保育園の解体費用を含めると、さらに費用が必要になるのではないか。

【回答】

現時点では、既存体育館の解体費用を計上しているが、ご指摘のとおり、旧保育園の一部を体育館用地として活用するため、その解体費用については、基本設計を進める中で事業費が増額となる可能性があると考えている。

【質問】

防災拠点となることを踏まえると、防災資機材の搬入等に伴う大型車両の進入も想定されるが、現状の道路幅では十分とは言えないため、道路整備について工夫が必要であると考えている。また、現在の給食センター付近では大型車両がUターンできない状況であるが、今後どのように整備する予定なのか。

【回答】

道路については、現状、前後に接続する道路があることから、必要な道路幅を確保できるよう整備を検討していきたいと考えている。

【質問】

工事着手時には、北側にお住まいの方については、反対方向の道路を利用させていただく必要が生じる可能性がある。また、建設工事においては、旧保育園を全て解体し、その跡地を資材置場等として活用することが理想的ではないかと考える。また、小学校と中学校の間の道路を工事車両が利用する場合、児童生徒の安全面での懸念もある。この点も含めて検討する必要があると思うが、どのように考えているのか。

【回答】

工事車両の経路については、安全性の確保が重要であると認識している。ご指摘のとおり、旧保育園を全て解体した上で、その敷地を活用することも考えられるが、基本設計を進める中で、工事車両の経路や資材置場の場所等も含め、十分に検討していきたい。

【意見】

旧保育園の跡地については、駐車場や防災資機材の搬入ルートとして活用することが、最も有効な方法の一つであると考えている。そのため、工事時の搬入経路や将来的な防災機能の活用も含め、こうした可能性を視野に入れて検討していく必要があると考える。

【質問】

社会体育での利用については、夜 9 時 30 分頃まで施設が使用されることから、騒音が懸念されるため、利用時間や騒音対策について十分に検討していただきたい。

【回答】

社会体育による騒音等の影響が生じないように、実施設計の段階で防音対策を検討する。また、建設場所についても、可能な限り南側に配置したいと考えている。

【質問】

防災面については、ハザードマップ上、建設予定地が浸水区域に指定されているが、体育館の建設予定地として適切であるのか。

【回答】

体育館を高くすると周辺への日陰の影響が大きくなることから、できるだけ現在の体育館と同程度の高さの平屋建てとしたいと考えている。その上で、床上浸水を防ぐことができるよう、必要な対策を講じた施設として整備したいと考えている。

【質問】

放課後児童クラブ周辺では、送迎等の車両が多数停車していることにより、通行しづらい状況が生じている。今後、体育館、道路の整備に伴い、周辺の交通環境への影響が大きくなるのではないかと懸念されている。

【回答】

放課後児童クラブ周辺については、現在、放課後の時間帯に非常に混雑している状況であるため、その対策について検討する必要があると考えている。

【質問】

新たに整備する道路については、現在、用水路沿いに曲がっている道路を、旧保育園敷地内を通るように変更する計画となっているが、現状では、放課後児童クラブの送迎車が給食センター付近まで停車しており、通行に支障が生じている。道路整備に当たっては、社会体育利用者の利便性だけでなく、児童生徒の安全や地域の交通環境への影響についても十分に考慮してほしい。

【回答】

現状については、把握している。今後、道路整備を進めるに当たっては、周辺の交通環境についても十分に考慮していきたい。

【質問】

体育館建設開始予定である令和 12 年から 50 年後を見据え、基山町の人口推移や高齢化の進行について、シミュレーションを行っているのか。

【回答】

基山町の人口については、現在6年連続で増加しており、宅地開発も進んでいる状況であることから、今後数年間は微増傾向が続くものと想定している。将来的には若干、人口は減少していくと想定している。

【質問】

体育館の耐用年数については、どの程度を想定しているのか。

【回答】

鉄筋コンクリート造の施設については、耐用年数50年である。また、長寿命化改修を実施することで、70年程度使用できる施設にしたいと考えている。

【質問】

非現地・私有地への建設が最も適した案とされているが、地権者との交渉が必要となることから、交渉が不調となった場合は、どのように対応するのか。

【回答】

現時点では、地権者との正式な合意には至っていないが、事前に協議を行っているところである。今後、基本方針を決定する中で、建設場所を私有地とする方針となった場合には、対象となる地権者の方から協力してもよいとのご意向であることを確認している。

ただし、現段階では具体的な交渉が完了している状況ではなく、正式な協議は基本方針決定後に進めることとなる。現時点で確定しているものではないが、全く見通しが立っていない状況ではない。

【質問】

現在の基山町総合体育館は、バレーボールの公式戦を開催できる高さの基準を満たしていない。中学校体育館の整備に当たっては、スポーツ団体関係者等の意見を十分に聞き、各種大会の開催・誘致も可能となる機能を備えた体育館とすることで、町内の宿泊施設や合宿環境との相乗効果も期待できることから、公式大会の開催が可能な規模・機能を有する体育館の整備を検討してはどうか。

【回答】

総合体育館については、天井高自体は公式大会の開催基準を満たしているが、天井から吊り下げられているスピーカー部分が基準に適合していない状況である。スポーツ団体等の意見を伺いながら、将来にわたって利用される体育館となるよう検討していくが、基本的には学校体育館として整備するものであるため、観客席を備えた総合体育館のような大規模施設ではなく、学校施設として必要な規模や機能を有する体育館の建設を目指していきたい。

【質問】

若基小学校の体育館では、トイレ入口で履物を履き替える必要があり、利用者の動線や使い勝手に課題があると感じている。施設整備に当たっては、設計上の機能だけでなく、実際の利用状況や現場の声を十分に確認し、トイレ利用時の履物の履き替えなど、日常的な利用場面における利便性についても十分に配慮していただきたい。

【回答】

トイレの入口については、実際の利用状況を確認した上で、引き戸とするかどうかを検討したい。

【質問】

八並線を延伸し、体育館横を通して役場周辺まで道路を拡張する計画があると聞いているが、この計画は現在も存在しているのか。以前、鳥栖市の田代中学校では、道路整備に伴って建設して間もないプールを解体し、別の場所に移転して再整備を行うという無駄な工事等があったことから、基山中学校の体育館整備を進めるに当たっては、今後の道路計画を十分に把握・検討した上で、場所を決定する必要があると考える。

【回答】

道路整備については、現時点において具体的な整備計画は把握していない。

【質問】

八並線を延伸し、役場周辺まで道路をつなぐ計画があるという青写真を以前見たことがある。その計画が正式に基山町から示されたものであるかどうかは承知していないが、仮にこの道路計画があるのであれば、基山中学校の体育館整備にも関係してくるのではないかと考えている。現在は現地建替えの案も出ていることから、以前見た八並線の延伸計画が現在どのような状況にあるのか。

【回答】

具体的に八並線が延伸されるのかどうかという具体的な計画があるかどうかについては、教育委員会としては把握していない。

【質問】

体育館を使用して競技を行う部活動として、どのような部活動を予定しているのか。また、社会体育ではどのような団体が活動する予定なのか。

【回答】

基本的には、現在と同様に、バレーボール、バスケットボール、剣道を予定している。卓球についても、体育館で活動できるようになればよいと考えているが、体育館の広さは現在と同程度であるため、多くの部活動で使用できるようになるわけではないと考えている。社会体育については、現在利用しているバレーボールやバドミントン等の団体が、基

本的には継続して利用することになると考えている。

【質問】

社会体育については、夜間や休日に利用することが多いため、利用者の利便性や安全性を考慮し、交通環境や周辺の駐車場の確保などについても十分に検討してほしい。

【回答】

技術室を取り壊すこととなった場合には、現在の技術室の東側にある水路を暗渠化し、敷地を一体的に利用できるようにすることで、校舎と体育館の間のスペースについても、より有効に活用できるのではないかと考えている。

【質問】

バレーボールを例にすると、基山町総合体育館と基山中学校体育館を大会会場として活用し、4面から6面程度のコートを確保することで、町外から多くの団体を呼び込むことができ、地域活性化につなげることができる。基山中学校の体育館の利用については、教育委員会として制約があることは理解しているが、今後50年を見据えて使用する施設であるならば、町長の意見も踏まえ、地域住民の声を聞きながら検討する必要がある。基山町として独自に財源を確保し、将来の地域活性化につながる体育館を整備していただきたい。

【回答】

中学校の体育館に観客席を設けることは難しいと考えている。一方、総合体育館は約1,000台の駐車場を備え、九州大会や全国大会、国スポなどの大規模大会を開催できる立地であり、合宿所も整備されている。中学校の体育館については、駐車場の確保が難しい状況である。しかし、中学校を非現地・私有地に建設できれば、小学校や体育館との連携が図りやすくなり、子どもたちの大会などをこれまで以上に開催できると考えている。

【質問】

体育館の建物だけでなく、駐車場も含めて整備を考える必要がある。特に、大人が利用する場合は車で来ることが多いため、十分な駐車場の確保が必要である。

【回答】

通常 of 社会体育で使用するために必要な駐車場は、整備したいと考えている。また、中学校体育館として必要な駐車場については、十分に確保したいと考えている。

【質問】

体育館を地域の方々に広く活用していただくことは重要である。一方で、近隣住民からは騒音など、生活への影響を懸念する声もある。そのため、利用時間の制限や交通対策、防音対策への補助など、建設以外の具体的な支援策も検討していただきたい。体育館の建

設に当たっては、周辺住民の意見を十分に聞き、地域住民にも「建設されてよかった」と思っただけの施設となるよう配慮していただきたい。

【回答】

長く利用する施設であるため、子どもたちだけでなく、地域にとっても有益な施設となるよう検討していく。また、防音対策や利用時間の管理を行い、騒音などで近隣に迷惑をかける団体については、利用を制限するなど、周辺住民に配慮した施設運営に努めたい。

【質問】

近年、中学校の部活動は外部指導者やコーディネーターを活用し、専門的な知識や技術を取り入れる方向に変化している。体育館の建替えに当たっては、今後の部活動の方向性を見据え、競技力向上や選手育成にも対応できる設備について検討していただきたい。

【回答】

部活動については、教員の働き方改革の一環として、土曜日・日曜日の活動を学校から地域へ移行する取組を進めている。現在も地域の部活動指導員を活用し、地域主体の活動を目指しているところである。現在、佐賀県では SSP 構想により、全国大会や九州大会で活躍した選手を登録・表彰し、支援する取組を行っているが、基山町としては、地域部活動への移行を優先して進めているところである。

5. 閉会

(事務局により開会)